

「一番町子ども大学」

青葉区中央市民センター×青葉区中央市民センター

1 事業概要

子どもたちは日々のカリキュラムや習い事、塾に追われる中にありますが、自分の好きな事や興味のあることは前向きに取り組む姿勢があります。そこで、各専門分野の先生を講師に招き、子どもたちが学校では習わないことやもっと知りたいことへ触れる機会を提供し、子どもたちの知的好奇心を喚起します。また、学校の垣根を越えて子ども同士が交流する機会を提供します。



リニューアルされた科学館へ行きました

2 令和6年度の活動

青葉区中央市民センターでは過去の講座参加者が多いとは言えず、子どもたちの興味関心のあるテーマをいかにして見つけ、受講者を増やすかが課題でした。

本年度最初に募集した「スリーエム仙台市科学館バックヤードツアー」と「ビルの中の化石を見つけに行こう！」の2回連続講座は、定員を上回る多くの参加希望者が集まりました。子どもたちと共に参加した保護者も熱心に講師の話を聞いたり、化石を探したりしていました。また、参加者同士が交流する様子も見られました。この講座で子どもたちからやりたいこと、知りたいことを聞き取りました。

3回目として開催した「楽しく学ぼう！国際理解」は東北大学職員のイタリア人講師を迎え、イタリアのこと、暮らして気がついた日本や仙台のことなど映像を交えて講話いただきました。しかし、残念ながら受講者はかなり少数でした。



科学館のバックヤード見学



床に化石が隠れている…？



イタリアの話聞いています

3 成果・今後の展望

●成果

3回の講座を開催する中で、アンケートや聞き取りで子どもたちが今後どのようなことを学びたいのかがリサーチしてきました。講座に参加した子どもたちは、積極的に質問をしたり実際に調べてみたり、学ぶ意欲がとても高いです。その意欲のある子どもたちの興味関心のあるテーマを拾い上げ、2月にプログラミングの講座を行います。

●今後の展望

本年度、子ども参画事業として講座を行ってきましたが、子どもたちが主体となって企画会を行うまでには至りませんでした。青葉区中央市民センターとしては時期尚早であったと思われるので、次年度は子どもたちの成長につながる様な講座を地区館として企画運営していきます。